

消毒剤図表

	次亜塩素酸ナトリウム5.25%	フェノール	第四アンモニウム化合物	過酸化水素	エタノール(エチルアルコール)	ヨードフォア	超酸化水
消毒レベル	低度/中度	低度	低度	高度	低度/中度	低度	高度
前洗浄が必要か?	はい。	はい。	はい。ただし第4世代QUATは例外。	はい。	はい。	はい。	はい。
貯蔵寿命	水と混合しなければ3か月、混合すれば24時間。	希釈しなければ、密閉容器中1年。	希釈しなければ、気密容器中2年。	遮光して気密容器中2年。	希釈しない場合2年。よく換気された冷所に貯蔵すること。	希釈しない場合2年。溶液が茶色から無色になったらもはや活性ではない。	<48 時間。
保健リスク	気密容器に入れて遮光する。	発癌性であり、粘膜、目および皮膚を刺激する。	皮膚炎を誘発する場合がある。粘膜を刺激する。喘息の徴候を引き起こすことがある。	6%の濃度で目、皮膚粘膜を刺激する。	吸入あるいは物質との接触は皮膚と目を刺激し、あるいはやけどすることがある。蒸気はめまいまたは窒息を引き起こすことがある。	正常な使用で無毒、無刺。時折、超過敏反応を引き起こす。	無毒、無刺激性。
調節	個人用保護具および換気増大。	個人用保護具および換気増大。	個人用保護具および換気増大。	ゴーグルを含む個人用保護具および換気増加。	換気	過敏な場合は、個人用保護具。	問題なし。
環境/処分問題	水性生物に有毒。	水生生物を含むすべての動物に有毒である。環境に耐え残る。処分規制を受ける。	水生生物に対し非常に有毒。	地域の規制に反しなければ、少量の希釈過酸化水素をシンクで大量の水により洗い流すことができる。	問題なし。	ヨードフォアは水生生物に高度に有毒である。排液を下水に放出すれば(関係当局による承認を得て)、タンパク質によって徐々に不活性化される。	問題なし。
追加的短所	高濃度では床材、金属、カーペット、衣類およびその他の繊維製品に損害をもたらす場合がある。アンモニアおよび可燃性の製品とは別々に格納すべきである。皮膚あるいは口に直接接触した場合(玩具など)すぐにすすぐこと。有機物が存在する状態、および光や一部金属によって不活性化される。	食品表面や食器類、保育園、託児所では使用しないこと。床材その他の表面を破損することがある。残留物はすすぐこと。ノロウイルスのような非エンペロープ型ウイルス、孢子、一部のグラム陰性菌に対して有効でない。	容易に汚染される。クロストリジウムデフィシル、ロタウイルスおよび一部グラム陰性菌に有効でない。残留物はすすぐ必要がある。QUATは一般に洗剤、石鹼および硬水によって不活性化されるが、新型の第4世代QUATは例外。	直接、皮膚や口に接触した場合(玩具など)、直ちにすすぐこと。7.5%過酸化水素は、黒色陽極仕上げされた金属の変色および織物の漂白を引き起こす場合がある。化粧品と機能材料は真鍮、亜鉛、銅およびニッケル/銀メッキに対して、両立性の問題がある。有機物質によって不活性化される。	ヘリコバクターとクロストリジウム・デフィシルに対しては効果がない。長い期間の反復使用により、ゴムおよびある種のプラスチック管およびタイルを膨らませ、硬化させク・チューブおよび漂白することがある。高度に可燃性なので涼しい換気された場所に格納しなければならない。急速に蒸発するので、長時間の曝露は、浸漬する以外に困難である。	高レベルの有機物によって活性が縮小される。汚染されるため、溶液を定期的に更新する必要がある。ヨードフォアは他の製品と併用してはならない。コンクリートサー面には推薦されない。高価であり、一部のグラム陰性菌に対して効果がない。	pH、電流および酸化還元電位のようなパラメーターを緊密にモニターしなければならないので、この製品を生産する設備は高価になることがある。有機物質が存在する状態で不活性化される。
長所	高濃度で生物膜を排除し、孢子を殺すことができる。抗菌作用は広域におよぶ。有毒残留物を残さない。水の硬度に左右されず、安価で急速に作用する。	容易に利用可能、硬水および有機物質が存在する状態で一部活動を維持し、乾燥後にある種の残留活性を有する。	容易に利用可能、表面へ傷害を生じない。	容易に利用可能、希釈時に腐食しない。処分に問題ない。無臭、無刺激性。(6%および7.5%でクリプトスポリジウムパルバムを不活性化できる唯一の化学的消毒剤)。	有機物存在中に同様の殺菌作用を保持する。	広いpH範囲(pH 3-9)で安定であり、曝露監視を要しない。汚れず、毒性が比較的ない。有機物が存在する状態で殺菌活性を保持する。	溶液は生物組織に無毒で、表面を腐食しない。高濃度(>5%の[v/v])で生物膜を排除できる。
抗微生物活性	高濃度で、殺真菌性、殺ウイルス性、殺結核菌性、殺孢子性。1000ppm有効塩素で結核菌、HBV、HAV、HIVを殺す。10分以内に5000ppmのクロストリジウム・デフィシル、30分以内に大腸菌、30秒以内に150ppmのピロリ菌、1分以内に1000ppmのノロウイルス、1分以内に1000ppmのSARS、5分以内に5250ppmの炭疽菌、5分以内に100ppmのB.atrophaeus、30秒以内に500ppmのカンディダおよびサルモネラ菌、10分以内に緑膿菌を殺す。	2%で殺菌性、殺真菌性、殺ウイルス性。殺結核菌性、非殺孢子性。0.5%でHIVを殺す。5%で10分以内に親水性のウイルスを殺す。	一般に殺菌性、殺真菌性、脂肪親和性(エンペロープ型ウイルス)に対して殺ウイルス性。非殺孢子性で、一般に非殺結核菌性、あるいは親水性(非エンペロープ型)ウイルスに対し殺ウイルス性でない。5秒内に、大腸菌、ピロリ菌、黄色ブドウ球菌、バンコマイシン耐性エンテロコッカスおよび緑膿菌を殺す。	1:16の希釈率で7%安定過酸化水素は6時間の曝露後に殺微生物性、20分間で殺微生物性、5分間で殺真菌性、5分間で殺ウイルス性、3分間で殺菌性。6%で15分以内に大腸菌、連鎖球菌およびシュードモナス種を殺す。5000ppmで3分以内にノロウイルスを殺す。3%スプレーでMRSA、VREを殺す。7.5%で10分以内に結核菌を殺し、7.5%で30分内でポリオウイルスおよびHAVを殺す。殺クリプトスポリジウム性。	殺菌性、殺結核菌性、殺真菌性、殺ウイルス性だが、殺孢子性ではない。最適の殺菌濃度は60-90%。80%で30秒内に大腸菌、ピロリ菌、95%でロタウイルス、75%でノロウイルス、70%で1分以内にSARS、95%で15秒内に結核菌を殺す。60%で麻疹、牛痘、インフルエンザ、アデノウイルス、腸内ウイルス、ライノウイルス、ロタウイルス、HBV、HIV、エコーウイルス、astrovirusを殺す。70%で:クリプトコックス・ネオフォルマンズ、プラストミセスデルマティティディス、コクシジオイデス-イミチスおよびヒストプラスマ-カプスラーツムを1-20分で殺す。	殺菌性、殺マイコバクテリア性、殺ウイルス性、しかし一部真菌を殺すためには接触時間を延長する必要がある。非殺孢子性。1:100希釈液で1分以内に大腸菌、アウレウスおよびマイコバクテリアウム・ケロネー(非安定型抗酸菌症原因菌)を殺す。	